

新川橋公開講座

心臓血管センター・寺井知子医師による

「睡眠時無呼吸症候群について」を開催しました！



12月26日（水）1階ライブラリーにて新川橋公開講座「睡眠時無呼吸症候群について」を開催しました。講師は当院心臓血管センター・寺井知子医師が務め、質疑応答を含めた約1時間、お話をいただきました。

「睡眠時無呼吸症候群（以下 SAS）」の主な症状として“いびき”があります。SAS の患者様特有の症状である「気道閉塞」は字の通り、慢性的に気道が塞がり呼吸が出来にくくなる状態です。気道が狭くなり、咽頭（のど）が振動する事により生じる音が“いびき”なのです。

その SAS がもたらす社会的影響、合併症や“持続陽圧呼吸療法（CPAP）装置”による治療方法などを寺井医師はわかりやすくお話致しました。本講演後、参加された皆様から多くの質問をいただきました。普段深く考えもしなかった“いびき”が重篤な疾患に繋がる怖い症状である事を十分にご理解いただけたのではないかと思います。



寺井医師による「睡眠時無呼吸症候群について」は毎月第4週水曜日に開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。



12月より毎週木曜日午後睡眠時無呼吸症候群（SAS 外来）を開設致しました。この講演をお聞きになり不安に思われた方、是非ご相談下さい。